



しばた議会だより



(第1回みやぎジュニア玉入れ選手権大会)
主催：柴田町総合型地域スポーツクラブ

呼吸をあわせて **せーの**

- 12月会議 豪雨災害の復旧に2億6,109万円 2～3
- 副議長就任あいさつ 4
 - 10月会議 豪雨の災害対応
- 11月会議 地方創生事業として、太陽の村整備など5事業 5
 - 議員の本会議出欠状況・議案などの審議結果
- ここが聞きたい 14議員が一般質問 6～13
- 先進地に学ぶ 常任委員会行政視察研修の報告 14～18
- 常任委員会レポート 19
- あなたの一言(佐藤 留美子さん) 20

一般会計予算額 144億3,199万円に

に2億6,109万円の補正

関東・東北豪雨災害復旧の今後の対応は

農道、ため池など、23件の農林施設の災害復旧。道路、河川など、48件の土木施設の災害復旧。また、今回の教訓から、局地的な大雨に対するソフト面、ハード面の対策を定める「局地冠水対策マニュアル」の作成業務の委託をする。なお、復旧工事は、12月から順次契約し、1月より行う。



9月の豪雨で被害のあった町道葉坂3号線（葉坂字音見坂付近）

項目	補正前の額	補正額	補正後の額
農林施設災害復旧費	600万円	3,387万円	3,987万円
土木施設災害復旧費	5,390万円	2億2,722万円	2億8,112万円
合計	5,990万円	2億6,109万円	3億2,099万円

12月会議では、9月に発生した「関東・東北豪雨」に伴う災害復旧費を含む一般会計予算の補正のほか、特別会計の補正4件、条例の制定・改正6件、人事案件3件、意見書案2件など、議案16件について審議され、いずれも全会一致で可決、

同意しました。また、議員14人が31項目の一般質問を行いました。中でも「関東・東北豪雨」災害に関連する質問を6人が行いました。

300万円を超えた！ ふるさと納税

ふるさと柴田応援寄附（ふるさと納税）

平成27年12月9日現在(単位：円)

項目	件数	寄附額
桜のまちづくりに関する事業	42	801,111
その他目的達成のため、町長が必要と認める事業		
1 教育に関する事業	35	705,000
2 福祉に関する事業	21	405,000
3 まちづくり（地域づくり）に関する事業	15	200,000
4 総合体育館建設に関する事業	3	50,000
5 図書館建設に関する事業	10	295,000
6 学校給食センター建設に関する事業	6	60,000
自治体におまかせ（1～6を選択しない）	71	995,000
合計	203	3,511,111

「ふるさと柴田応援寄附」は、㈱トラスバンク（所在地・東京）が運営するインターネットサイト「ふるさとチョイス」に本年度から委託しているが、委託1年前の26年度の55万円から大幅なアップとなっている。5千円から寄附は受け付けるが、2万円以上の寄附の返礼品には牛タンなどが加わり人気となっている。

12月会議 会期：12月7日～10日

関東・東北豪雨災害復旧

一般会計補正による主な内容と予算額 (豪雨災害以外)

事業名	予算額
インフルエンザ予防接種委託料 (高齢者・中学3年生)	631万円
槻木五間堀川河川改修工事	1,157万円
局地冠水対策マニュアル作成業務委託料	125万円
槻木小学校照明器具改修工事 槻木中学校体育館改修工事 など	4,594万円
船迫中学校体育館暗幕購入費 西住小学校体育館暗幕購入費	127万円



外壁の改修を行う槻木中学校体育館

平成27年度補正予算（12月会議）

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	3億8,738万円	144億3,199万円
特別会計	国民健康 保険事業	49億4,655万円
	公共下水道 事業	▲9億6,528万円
	介護保険	27億6,570万円

インフルエンザワクチンの値上げ

インフルエンザワクチンが値上げになり、高齢者と中学3年生の予防接種委託料の単価改定による増額補正を行った。

槻木中学校体育館の改修

今回は、外壁のクラック（ヒビ）部分補修と塗装を行うが、屋根の塗装は行わない。

12月補正予算に対する質疑

局地冠水対策マニュアルの完成時期は

質疑 マニュアルはいつまで完成させ、どのように活用するの。

答弁 今回豪雨で冠水した所を検証し、堀の浚渫や堤防のかさ上げなどのハード面と、排水機場や水門の操作、住民への情報の伝達の仕方などのソフト面をマニュアル化するもので、年度内完成を目指す。

東船岡小学校に手すりを設置

質疑 東船岡小学校に設置する理由は。
答弁 次年度、特別支援学級に入学する児童を支援するためである。階段体育館の入り口、トイレなどに手すりを設置する。

船岡城址公園の園路の通行がより安全に

質疑 園路の設計を行う、船岡城址公園整備詳細設計の委託とは。

答弁 船岡城址公園の園路全体を図面にして危険な箇所を明らかにし、安全策を講じるための設計委託である。

臨時保育士不足対策は

質疑 臨時保育士は足りているのか。
答弁 臨時保育士の採用に対し、応募が少なかつた。今いる保育士で頑張っていたらいい。



頑張っている保育士

ごあいさつ



副議長 高橋たい子

柴田町議会副議長の星吉郎氏の逝去に伴い、12月会議（12月7日開催）で、高橋たい子議員が副議長に選出されました。

私は、「町民に開かれた議会」を目指し、農政課題をはじめ、生活環境整備の充実など、幅広く活動してまいりました。しかしながら、町民のニーズは多様化の一途にあり、総合体育館の建設、道路整備、雨水対策などの社会資本整備への投資、地域の活性化や地方創生の具現化への取り組みなど、課題は山積しています。これらの課題に対し町民と協働のもと、議長の補佐役として、議会が公正かつ民主的に運営されるよう、誠心誠意努力してまいります。

議会運営委員会と文教厚生常任委員会の構成が変わりました。

議会運営委員会

委員長 広沢 真
副委員長 水戸 義裕
新任 佐々木 守

文教厚生常任委員会

委員長 佐々木 守
副委員長 桜場 政行

人事案件

○教育委員会委員の任命に同意



伊藤 誠氏(新任)
(船岡新栄3丁目)

○監査委員の選任に同意



大宮 正博氏(新任)
(成田字榎房)

○人権擁護委員の推薦に同意

佐藤 良吉氏(再任)(榎木字余目山)

意見書 可決

★最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書 (全会一致)

★東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書 (全会一致)

10月会議
10月21日開催

関東・東北豪雨の災害対応に 5,830万円 増額

10月会議は、関東・東北豪雨の災害対応費を含めた専決処分4件、契約案件2件について審議し、原案のとおり可決しました。

契約案件は、公共下水道事業鷺沼1号雨水幹線工事と大原汚水幹線工事でした。

関東・東北豪雨の災害対応に、5千830万円追加

【質疑】平成27年9月関東・東北豪雨による、農林業施設と公共土木施設での被害状況は。

【答弁】農林業施設で23件、公共土木施設で48件である。

【質疑】復旧工事はいつごろになるのか。

【答弁】27年11月に国の災害の査定が一部始まり、審査が終われば年内中に契約をする。ほかの箇所も順次審査を受け、復旧工事を進めていく。



9月の集中豪雨で被害を受けた成田地区

11月会議
11月20日開催

地方創生先行型交付金事業

太陽の村整備など5事業に総額5,970万円

地方創生先行型交付金の5事業

- ◆太陽の村冒険遊び場整備事業 1,000万円
- ◆トッパアスリート育成事業 1,000万円
- ◆地域資源を活用した小さな拠点整備事業 2,109万円
- ◆「花のまち柴田」※2 インバウンド推進事業 1,750万円
- ◆阿武隈急行沿線開発推進協議会負担金 111万円



太陽の村冒険遊び場整備予定地

質疑 トッパアスリート育成事業とは。
答弁 主な事業として、トッパアスリートからの指導、放課後先生の配置、体力・運動能力テストの実施などである。

小中学生の
体力向上を

質疑 地域資源を活用した小さな拠点整備事業とは。
答弁 上川名地区の荒廃した竹林の間伐や作業道の整備をする。また、周囲にイノシシ対策の電気柵を設け、竹林の再生や加工販売を目指す。

荒廃した
竹林の再生

質疑 太陽の村冒険遊び場整備事業とは。
答弁 子どもたちの遊具の整備を図り、子どもから高齢者までが遊び集う広場などを整備する。

子どもたちの
遊び場を中心に

11月会議は、一般会計補正予算に※1 地方創生先行型交付金として新たに認められた、5千970万円を増額する審議を行い、原案のとおり可決しました。

※1 地方創生先行型交付金
各自治体自ら行った施策
を選べる地方への新設交付金。
※2 インバウンド 訪日外国人旅行のこと。

議員の本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議の出欠状況

区 分	主 な 内 容	月 日	出 席 者 数 △	出 欠 状 況																			
				平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間 奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子	我妻 弘国	星 吉郎	加藤 克明		
(平成27年度)10月会議	本会議	請負契約	10.21	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成27年度)11月会議	本会議	補正予算	11.20	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成27年度)12月会議	本会議	副議長選挙、町政報告、一般質問	12.7	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.8	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問、人事案件	12.9	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例、補正予算	12.10	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表します。

●議案などの審議結果 (全員が賛成)

区 分	件 名	区 分	件 名
(平成27年度)10月会議	平成26年度柴田町・大原町公共下水道事業鷺沼1号雨水幹線その2工事(繰越明許)請負契約	(平成27年度)12月会議	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の改正
	平成27年度柴田町公共下水道事業大原汚水幹線工事請負契約		柴田町町税条例の改正
(平成27年度)11月会議	平成27年度柴田町一般会計補正予算		柴田町町税条例等の改正条例の改正
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること		平成27年度柴田町一般会計補正予算
(平成27年度)12月会議	教育委員会委員の任命		平成27年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
	監査委員の選任		平成27年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算
	仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更、規約の変更及び財産処分		平成27年度柴田町介護保険特別会計補正予算
	柴田町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例		平成27年度柴田町水道事業会計補正予算
	柴田町職員の再任用に関する条例の改正		最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
			東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書

一般質問



舟山 彰 議員

Q 冠水常襲地域の見回りを増やすべき

A 巡視対象地区を増やし、見回りを強化



一時的に孤立した館前地区

9月10日、11日の関東・東北豪雨により、町内でも被害が出て、町も補正予算を組むなどして復旧に当たっている。

9月12日、槻木館前地区の友人からの電話で、次のようなやり取りがあった。

「我が家の前の道路はいつも冠水する。今回も冠水して、周辺住民は車も出せなかった」

「役場に連絡したのか」「今日は土曜日で休みでしょう」との答え。

「役場に宿直がいるので、緊急時は担当課に連絡してくれるはず」

「連絡する。ただ、今まで役場に現場を見に来てもらったことはない」との返事であった。

そこで質問する。

問 この地区は常に冠水する地区として、普段から注意しているのか。

大雨の場合、すぐ見回りをする対象としているか。

町長 今回は、冠水常襲地区を中心に見回りや災害対応を実施した。

問 松ヶ越団地は、3カ所の出入口が冠水し孤立した。町はどのような対策を取ったのか。

町長 一時的には孤立したが、時間的な差はあっても、車の通行はできたと認識している。

問 槻木の館前の道路と松ヶ越の出入口3カ所の今後の冠水対策は。

大雨の場合、すぐ見回りに行くべきではないか。

町長 今後は大雨の際の巡視対象地区に加えて見回りを強化する。

問 食材を生かした地方創生はできないか。

町長 地元で生産される味噌やユズを材料にして、新しい商品の開発につなぐための取り組みを、※地方創生先行型事業として行う。地方創生上乘せ型事業としては、上川名地区のタケノコや地元農産物を食材とした取り組みも、交付金を活用して行う。

問 空き家・空き店舗、太陽の村の宿泊施設を活用した地方創生は。

町長 柴田町の総合戦略の一つの柱に「交流・移住プロジェクト」を掲げ、移住・定住活動の推進事業に取り組む。方向性としては、空き家の実態調査を継続して実施し、空き家の相談窓口の周知や町内不動産会社との連携体制を構築する。

問 小さな拠点づくりで、地方創生ができないか。

町長 上川名地区活性化推進組合が事業計画を作り、「小さな拠点づく

り」に取り組んでいる。地域で荒廃した竹林を再整備し、タケノコの生産・販売を行う。タケノコを食材として利用し、6次産業化に取り組み、地域での仕事や収入の確保につなげる。

人と人との支え合いや交流によって集落での暮らしを守り、地域で安心して住み続けられるよう地方創生そのもの考える。
※地方創生先行型 5ページ11月会議を参照。

Q 柴田町の地方創生の取り組みは

A 地方創生の交付金を活用し取り組む



吉田和夫 議員



再整備が進む上川名の竹林

一般質問



平間奈緒美 議員

Q 柴田町メール配信サービスの充実・活用を

A 登録制メールで町内の詳しい災害情報を配信



懸命に排水作業を行う消防団（剣水地区）

問 大雨の特別警報が発令され、エリアメールが数回にわたり配信されたが、混乱はあったか。

町長 情報の多さから住民の間に混乱が起きた。しかし、近隣市町の情報は災害時の対応の参考になる場合があるので、今後、情報配信の整理をする必要がある。

問 身近の詳しい災害情報を知らせるために、柴田町メール配信サービスを、さらに充実・活用させるべきでは。

町長 身近の詳しい災害情報を登録制メールで配信することは可能である。多くの方に登録していただくよう、お知らせ版などでPRしていく。

問 東京都杉並区では、河川の水位や雨量をメール配信している。参考にしては。

危機管理監 柴田町は、2つの川が合流することから、水位情報はメール配信などで行う。消防団や地区の防災訓練などで、登録へのPRをしていく。

問 防災マップの見直しは。

危機管理監 県は来年度、白石川を含めた主要24河川のハザードマップの見直しを計画している。それを参考に見直す。

問 降雨量や河川の水位浸水被害のシミュレーションの導入を。

危機管理監 被害のシミュレーションが必要なのは承知している。国、県の指導を受けて、ハザードマップを作成していく。

5月に消防訓練、10月には防災訓練が実施され、防火・防災の啓蒙、意識の高揚が図られている。さらなる意識を高める意味において問う。

問 現在、柴田町では消防栓451基、防火水槽132基を設置しているが、町全体として十分な数と考えるか。

町長 消防水利の基準から町の設置計画では消防栓565基、防火水槽152基となっている。消防栓は今年度1基新設しており、

年々増やしていく考えである。防火水槽については、地理条件を考慮し検討していく。

問 柴田小学区内の消防栓・防火水槽の設置数は。

危機管理監 槻木、船岡、船迫、三名生、その他山手と分けている。山手の消防栓は60基、防火水槽は51基、柴田小学区の消防栓は27基、防火水槽は41基である。

問 防火水槽の点検は、誰がどこをどのよう

にしているのか。

町長 消防団が年に数回、漏水、標識の有無、止水栓、排水栓の開閉の点検を実施している。

問 消防団が点検したことを確認しているのか。

危機管理監 調査票の提出に留まっている。

問 給水バルブ開閉ハンドルの統一化をすべきでは。

危機管理監 修繕時に統一したい。

Q 防火施設の整備状況は

A 消火栓は増設、防火水槽は検討する



高橋たい子 議員



葛岡地区にある防火水槽



安部俊三 議員

Q 小中学校における
体力づくりを積極的に
推進すべき

A 仙台大学などと連携し、県内一、
日本一を目指して努力



走ることが基本(柴田町スポーツ少年団本部交流会)

問 昨年度の全国体力テストで宮城県は、47都道府県別で小学5年男が40位、女が33位、中学2年男が21位、女が26位であった。本町における昨年の全国体力テストの結果はどうかだったのか。

教長 8種目で調査が行われた。その結果、全国の体力合計点の平均と比較すると、小学5年男が1.8割、女が0.2割、中学2年男が0.9割、女が0.8割(全国平均より下回った(種目別では、全国平均を上回ったもの

問 本町の各小中学校は工夫し、体力づくりを推進しているが、一層の成果を挙げるため、積極的に取り組むべきと思うが。

教長 町教育委員会として取り組みに加えて、今年度から仙台大学の協力を得て実施している放課後先生の活動を継続、発展させ、体力向上を目指す。スポーツ都市宣言を行っている本町である。1つの目標として、

小中学生の体力が県内一、いや日本一となり、ぴかっと光る町にしたいと思うが。

教長 ※地方創生先行型のトップアスリート事業を推進し、町と仙台大学、柴田町総合型地域スポーツクラブと連携しながら、町内の小中学生の体力向上を図る。また、県内一、日本一を目指して努力する。

※地方創生先行型 5ページ11月会議を参照。



佐々木守 議員

Q フットパスによる
健康づくり事業とは

A 自然や町なかを
楽しみながら歩くこと



寒風に胸張り健康づくり(さくらウォーカーズ)

問 まちづくり住民懇談会で「元気なまち創造プロジェクト」をにぎわいや仕事おこしにつながるとの説明があったが。

町長 地域の人たちと行政が一体となって、自然景観や田園風景、歴史や文化などの資源を活用した新たなフットパス構想を整備することで、町内の魅力を高め、人・物・情報が盛んに行き交う元気な町にしていきたい。

問 プロジェクトの内容は。

町長 「フットパスによる元気なまちづくりの推進」を重点プロジェクトとして位置づけ、健康寿命の延伸のために生活習慣病予防教室や各種健康づくり事業、ダンスや体操やノルディックウォークなど、各課で事業の展開を行っていく。

問 フットパスによる健康づくり事業の目指すところは。

町長 子どもから高齢者まで、自然や町なかを

ストレスの解消や健康寿命の延伸に効果があり、健康で明るい安全・安心なまちづくりにつながる。地域での取り組みの重点は。

健康推進課長 健康づくり事業の目標として、介護状態にならずに健康を維持することを念頭に置いて事業を進めている。地域ごとの毎年の健診で、自分の健康状態を確認して、正常な状態に近づけていただくことが重要である。

一般質問



秋本好則 議員

Q インフラの長寿命化計画は

A 壊れる前に補修する 予防保全を行う



58年経過した船岡五間堀8号橋

問 柴田町の橋149の維持管理化計画と劣化度の判断内容は。

町長 11橋の長寿命化計画を作り、残りも継続して取り組む。点検は目視や触診、打音検査でⅠ～Ⅳの4段階に評価する。

問 4段階の詳細は。

町長 9ブロックに分け、それぞれ9つのポイントで点検化する。

問 この保全計画での経費縮減額は。

町長 壊れる前に補修する予防保全で、2億円余りの縮減が見込まれる。

問 橋の寿命は。

町長 100年と考える。

問 補修を繰り返さない部材もあるが。

町長 非常に難しい。部材のサイクルが異なるので、総合的に判断する。

問 下水道はどうか。

町長 布設後20年以上経過した管で、緊急度の高い21ヶ所相当の管を5カ年計画で修繕する。

問 下水道予算に一般会計からの繰り入れ金は32割、町債(町の借金)は25割を占めるが。

町長 下水道予算に一般会計からの繰り入れ金は32割、町債(町の借金)は25割を占めるが。

問 見込みとおりである。

町長 一般会計からの繰り入れ金の額は。

町長 約4億円から5億円の範囲で推移する。

問 一般会計からの繰り入れに総務省の基準があるが、内容はどうか。

町長 基本的には基準内で運営している。

問 項目中で最大は。

町長 公債費(町債を返済するための経費)が最大である。

問 22年度の公債費残高は101億円。現在は。

町長 26年度では77億円余りになる。

国民健康保険の都道府県化を初めとする医療保険制度改革が進んでいる。しかし、国民健康保険が、「低所得者が多く加入する制度でありながら保険税の負担が重くなっている」構造的な矛盾を残したまま、患者負担を増やす「改革」が続く、町民の負担は大変になっている。

問 国民健康保険の県一本化について示されている中身は。

町長 国と地方で協議する「国保基盤強化協議

会」で議論していて、スケジュールは9月に示されている。28年1月には運営に関わるガイドラインが示される予定である。

問 一本化後、国保税の額は。

町長 国保税の標準額や県に納める納付金は県が決める。

問 今年度から低所得者対策のため、国の負担額に上乗せされている金額は。

健康推進課長 4千900万円である。

問 上乗せされた金額と3億5千700万円ある基金を一部取り崩して、国保税を下げられないか。

町長 基金は、一定額は必ず保有しなければならない。その前提で、安定的な収入と支出が確約されれば減額することも可能だが、医療の状況も変わるため、すぐに減額に踏み切るのは難しい。

平成27年度決算が出た時点で検討する。

Q 国民健康保険税の引き下げを

A 今年度の決算を見た上で判断する



広沢 真 議員



相談に応じる国保窓口(健康推進課)



桜場政行 議員

Q 学校の体育館に AED の設置を

A AED による救命処置は重要で設置していく



利用者が多く、AED 設置が待たれる学校体育館

町では、スポーツを楽しむ少年団や愛好者が学校の体育館やグラウンドを利用し、運動や練習をしている。しかし、土日・夜間の学校体育施設開放時には、校舎は施設され、AED を利用することができない。

問 心筋梗塞や不整脈で倒れた人には、AED による電気ショックが重要である。救命処置は必要なので、年次計画で学校の体育館に AED の設置を。

町長 仙南 2 市 7 町の学校体育館の AED 設置状況は、大河原町の小学校 1 校で、寄附によるものである。しかし、学校体育館の夜間開放時の救急救命処置の必要性を考えると、救命処置は重要であり設置していく。ただし、各利用団体が柴田町体育協会で開催している救急救命講習会に参加して、救命処置を身につけておくことが前提である。AED 使用に関連する事例は。

問 AED 使用に関連する事例は。

スポーツ振興課長 丸森町で、25 年 9 月に宮城ヘルシー管内大会が開催されたとき、柴田町から出場したソフトボールチームの監督が突然倒れ、AED を利用して心臓が動き出したという事例があった。

問 柴田町のグラウンドを利用したスポーツ愛好者もたくさんいる。グラウンドにも AED の設置を。

総務課長 AED が効果を挙げた前例があるので、前向きに検討する。

幼い頃から 1 日 4 時間以上メディアに接していると、言葉の遅れや行動に異常が表れる。また、スマホ 1 日 1 時間以上で成績が下がるという調査結果も出ている。川島隆太教授は「中毒的にスマホをいじっている子どもたちの問題は、大人のギャンブル依存より深刻」と警告している。

問 子どもがメディア・ネット依存に陥る背景をどう考えるか。

教育長 総務省の調査では、インターネット利用

者数がここ 10 年間で 2 千万人増えている。いつでも、どこでも、誰でも手軽に利用できる環境があるため、不適切に利用すればネット依存に至ってしまうと考えられる。

問 ネットを使いたいじめが起きていることから、体力や学力が全国トップの福井県は、「ふくいスマートルール」を作り使用時間を制限している。制限は静岡県や岡山県、仙台市など全国的にも時間制限すべきでは。

総務省の調査では、インターネット利用

教育長 子どもたちに考える機会を与え、家庭に協力してもらい、子どもたち自身が危険性に気づき、自分でルール作りをする方を検討していく。

問 授乳中に母親がスマホをいじっており、一番身近な大切な人とながっていない。出生届時に注意喚起すべきでは。母子手帳の交付時に、子どもの脳の発達について伝えていきたい。

Q 子どものメディア・ネット依存を防ぐため、使用時間の制限を

A 子ども自身がルールを作ることが大事



白内恵美子 議員



家庭のルール作りが大事



有賀光子 議員

Q 介護ポイント制度の導入を

A 地域包括ケアを推進していく中で研究していく



介護ボランティア活動中（常磐園）

問 高齢化の進展に伴う介護需要の増大は、重要課題の一つである。高齢者の健康づくりを促す介護ポイント制度を積極的に検討しては。

町長 今後、地域包括ケアを推進していく中で住民や介護保険事業所、福祉施設等との協議において研究していきたい。

問 26年度からの健康ポイント事業で、介護予防の事業も実施している。関係事業はいくつ含まれるのか。

福祉課長 介護予防関連の事業は、介護予防の運動教室、介護予防の口腔機能向上教室、元気はつらつお達者day、出前講座・はじめましょう介護予防教室、自立者支援通所事業「春風」、介護予防推進大会の6事業となっている。

福祉課長 現在、介護予防の効果は出ているのか。

福祉課長 現在の高齢者率は26・1割となっており、高齢化率は高齢者の増に伴い増えているが、認定率は昨年度の14・6

割から今年度は14・3割に下がっている。介護予防事業が進んでいる効果と見ている。特に、閉じこもり予防に非常に役立つている。

問 認定率が下がった要因は何か。

福祉課長 健康ポイント事業のほか、スポーツ団体や文化団体での活動、地域活動をしている人たちが多くことである。また、その人たちを支援する人が多いことも大きな要因である。

問 柴田町の桜の景色を後世に残すため、その対策をどのように考え進めるのか。

町長 近年は幹の空洞化や枝枯れ、特有の病気などの症状が目立つようになってきている。そこで、25・26年度で町民や関係者20人によるワークショップを開催し、「しばたの桜100年計画」を取りまとめた。その計画に基づき保護を実験的に行う。

問 どのような保護の内容か。

都市建設課長 船岡城址公園三の丸広場の3本と、白石川堤の2本を樹木医の指導を受けながら、根回りの土の入れ替えと施肥を行う。

問 ほかの桜は、その実験状況を見て対応するということが。

都市建設課長 守り育てる区域を設定し、今後保護が必要な桜が出てきたときには実験本数を増やし、継続するよう考えている。

問 4月に開催される「さくらサミット」で、

柴田町がこれから年若い桜を守り育てていくような気遣い込みを紹介してはどうか。

町長 各団体から寄贈される桜の苗木を、船岡城址公園や桜の小径、葛岡山公園に植栽し、次の世代の桜並木づくりに取り組む。また、「全国さくらサミットinしばた」においても、「桜を後世に伝えるための取り組み」を議題に、参加自治体との意見交換を行う。

Q 今後の桜の育成管理は

A 27年度に老木の延命実験を行う



平間幸弘 議員



春には満開のさくらを（船岡城址公園）

一般質問



水戸義裕 議員

Q ※オレンジプランの
かかりつけ医は

A 現在町内に4人の医師がいる



オレンジプランを推進している柴田町地域包括支援センター

認知症とは、いろんな原因で脳の細胞が死滅し、働きが悪くなって障害が起こり、生活上の支障が出る状態を指す。10年後には70万人を超え、軽度認知障害者を入れると1,300万人となり、65歳以上の3人に1人が認知症患者とその予備群になると、厚生労働省が推計している。

問 四日市市では地域の人に認知症の見守り支援協力を要請し、協力者・店に目印となるステッカーを配布している。本町にはこういう支援の計画はあるか。

福祉課長 新年度、認知症サポーター養成講座を受講した人の店などに貼れないか考えている。

問 オレンジプランには、かかりつけ医の研修がある。町に何人いるか。

福祉課長 研修を受けた医師は、町内に4人いる。

問 このプランには、認知症地域支援推進員の研修がある。本町の状況は。

福祉課長 研修を受けた4人の推進員がいる。

問 軽度認知障害者の把握は。

福祉課長 軽度者の実際の人数は把握していない。

問 40〜50代の若年性認知症対策は。

福祉課長 8人いて、5人は施設で生活している。3人は、地域包括支援センターが、閉じこもりにならないように支援している。

※オレンジプラン 認知症施策推進5か年計画。



我妻弘国 議員

Q 阿武隈川の
土手が弱いと
言われているが

A 28年1月まで測量、その後、堤防の拡幅工事を実施する予定



早朝の拡幅工事が望まれる阿武隈川の土手

問 阿武隈川の土手が弱いと言われているが。

町長 築堤当時の土質に問題があり、堤防の拡幅工事を要望した。28年1月まで測量、その後、詳細設計、用地買収などを経て、堤防の拡幅工事を実施する予定である。

問 葉坂原坂の鉄砲水を防ぐ局的対応とは。

町長 町単独としてできるソフト面・ハード面からの対策を、「局地冠水対策マニュアル」としてまとめ、今後の災害対応に生かしたい。

問 町内に、建設年度が不明な橋が9橋ある。この現況に心配はないか。

町長 五間堀右岸6号橋の※判定がⅢで、構造物の機能に支障が生じる可能性があるが、早期に措置を講ずる状態にある。

問 白石川のハザードマップが作られていない。どのように考えているのか。

町長 県は、来年度から重要水防河川浸水シミュレーションの改訂を実施する予定で、その中に白石川も含まれる。それに基

づき柴田町のハザードマップを作成する。

問 以前、入間田や四日市場で大きな地滑りがあったが、遅滞なく避難できる体制になっているのか。

町長 26年11月、18B区では、土砂災害の前兆を発見したという想定で、避難訓練を実施した。27年は、情報伝達訓練と、要支援者の避難訓練を実施している。

※判定 Ⅰは健全な状態、Ⅱは経過観察必要、Ⅲは補修が必要、Ⅳは緊急補修が必要。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

舟山彰 議員

問 発達障害は相談があってからではなく、もっと早く対応できないか。

答 町は健診を通して、発達障害の早期発見に努めている。

問 町内の空洞化対策を急ぐべきではないか。

答 まちづくりは人づくり。事業の中心を担う人材を応援していく。

吉田和夫 議員

問 土のうステーションの設置を。

答 要望があった土のうステーションを設置し、周知を図る。

平間奈緒美 議員

問 船岡地区児童館建設に向けての進捗状況を問う。

答 施設の規模や建設場所、放課後児童クラブとの併設、その他の機能の設置を検討中である。

高橋たい子 議員

問 イノシシの捕獲について、地域ごとや共同で対策を講ずる考えはないのか。

答 管理の問題はあるが、地域と話し合い、モデル地区をつくり電気柵の設置を考えている。

問 26年度12月会議で下水道賦課漏れの徴収率23%と回答あり。現時点での徴収率は。

答 時効にならない910万1,865円に対し、約42%の徴収率となっている。

佐々木 守 議員

問 整備されたハイキングコースなどにゴミが不法投棄されているが、その対策は。

答 環境指導員による監視体制、監視カメラによる確認作業で推進していきたい。

秋本好則 議員

問 槻木白幡の町道（旧国道4号）にある電柱や道路標識の移設は。

答 NTTに立会いを要請している。道路標識は大河原警察署と移設協議を進めている。

問 槻木の旧国道4号に水道管の布設がなく、個人負担で水道を引いている。消火栓の利用は。

答 道路構造上、下水道との共同埋設は無理だった。消火栓までの水道管からの分水は可能。

問 (株)二幸向かいの道路側溝は一部つながっておらず、9月の大雨で北船岡地区に溢れた。

答 郵便局方面に流すのが良いのか、側溝の断面の問題もあるので調査する。

桜場政行 議員

問 地域おこし協力隊にミッションを与え、空き家を利活用した経済の活性化を。

答 ※1 リノベーションスクール開催の提案を受けた。実現に向けて地域との調整を図る。

問 小規模保育で28年度の3歳児の受け皿の現状は。

答 今後、私立幼稚園の新制度への参加により、保育の受け皿を確保し、質の向上に努める。

白内恵美子 議員

問 トッコン跡地の活用と資金調達に、民間意向を募る※2 サウンディング型市場調査を。

答 避難施設を核とした防災公園として取得しており、民間ビジネスの活用は考えていない。

有賀光子 議員

問 台風による豪雨被害が多発している。避難指示のタイミングや深夜の避難方法の在り方は。

答 職員を避難所に配置する。夜間の避難が危険な場合、※3 垂直避難をお願いしたい。

平間幸弘 議員

問 国道沿いの町内入り口交差点付近の緑地帯に、花のまち柴田をイメージできる花の植栽を。

答 植栽は可能。行政区が継続的に行うのであれば、地域づくり補助金などの活用もある。

我妻弘国 議員

問 大原住宅の整備は、40数年を経て解決が見られない。早急に解決の協議をするべきでは。

答 もう一度原点に戻って、地権者とより良い方法を模索し、早期解決を目指していきたい。

問 町の臨時職員等には交通費を支給していない。労働契約法は支給するよう規定しているが。

答 地方自治法により、条例に明記されていない手当は、一切支給できない規定となっている。

※1 リノベーションスクール

古い建物に新たな付加価値を加えることを目的として、建物を大幅に改修する技術を学ぶ場。

※2 サウンディング型市場調査

事業決定の前に、民間に提案を求め、参入しやすい公募条件を整えること。

※3 垂直避難

水害発生のとき、緊急的に、上階に避難すること。

地に学ぶ

常任委員会行政視察研修の報告

議会運営

委員会

テーマ 議会基本条例について

視察先 北海道福島町
北海道登別市

視察日 平成27年7月14日(火)～16日(木)

北海道福島町

研修内容

『議会運営の検証、議会基本条例の見直し』

経緯

福島町では、17年度から有識者による「議会の評価」「議員の自己評価」を毎年行っており、早くから議会運営、議員個人の活動についての検証を行ってきた。

議会基本条例制定後は、議会活動の実態や問題点などを公表するための「議会白書」を作成し、議会活動の客観的な把握と町民に対しての情報公開を一層推進している。

議会改革の主なもの

- ① 議会インターネット映像の配信
- ② 議会白書を調製し、公表
- ③ 議会の附属機関として議会基本条例諮問会議を設置

「開かれた議会づくり」を目指し、継続的、発展的に行っている。

まとめ

福島町の基本条例見直し検証は、議会運営委員会において現状と課題を整理・検討し、全員協議会、さらに諮問会議の答申を経て、「議会基本条例見直し検討による行動計画書」を作成している。諮問会議を経ることでも外部意見を取り入れている点も画期的である。



福島町議場にて

北海道登別市

研修内容

『議会運営の検証、議会基本条例の見直し』

経緯

登別市では、議会基本条例を3年かけて作成し、23年5月1日から施行した。

条例第22条に基づき、条例に盛り込んだ41項目を一覧にした「チェックシート」及びその基礎資料となる「チェックシート基礎調査表」を作成し、2年ごとに議会運営委員会で検証している。

さらに、27年度からは「議員自己評価表」を作成し、活用している。

議会改革の主なもの

- ① 議員へのパソコン貸与、議場でのインターネット活用
- ② 年間活動計画を策定し、公開
- ③ 議会中継の導入

④ 市民との論議の場として、議会フォーラムの開催

まとめ

登別市の検証方法を参考にしながら、早急に議会運営の検証を行う。その結果を踏まえ、本町においても、確実に議会改革を図っていくことが望まれる。



登別市議会での研修

議会運営委員会 総務常任委員会

先進

総務

常任委員会

テーマ 公共施設等総合管理計画について

視察先 千葉県我孫子市 埼玉県坂戸市
埼玉県小川町 東京都豊島区(区役所視察)
視察日 平成27年10月26日(月)～28日(水)

千葉県我孫子市

研修内容

『公共施設の包括管理委託』

事業導入までの経過

19年度に「公共施設の維持管理の効率化」基本方針を策定した。

23年度に市の全ての事業を公表し、民間からの提案を募った。その結果、民間不動産会社より包括管理の提案があり、24年度から導入した。24年度は54施設、26年度は68施設を一括管理している。

事業効果

- ① 既存の定期点検費削減
- ② 契約、支払業務の事務軽減による人件費削減
- ③ 24時間対応による都合時対応の迅速化
- ④ 中短期修繕計画書による修繕計画のサポート

『予算編成過程の公開』

事業の概要

新規事業について、予算の編成過程の進捗状況を



我孫子市議会での研修

を公表し意見を求めるもので、市では17年度から始まっている。

事業の目的

- ① 新規事業の採択過程の公開
- ② 事業採択について広く市民の意見を聞く
- ③ 市民への説明責任を果たす

まとめ

公共施設包括管理委託は、本町単独では規模が小さいことも想定される。広域的な導入を検討するのも一つの方策である。予算編成過程の公開は、本町でもできる範囲での情報公開が望まれる。

埼玉県坂戸市

研修内容

『公共施設等総合管理計画』

計画の概要

坂戸市公共施設等マネジメント計画は、26年度に完成した。計画期間は27年度から30年間である。今後10年間は、「アクションプラン」を策定し、毎年見直しを行う。

25年度から「公共施設白書」を作成し、毎年調製している。現在の公共施設は、105施設261棟。

まとめ

行政と市民、議会が情報を共有し、知恵を出し合う環境づくりが重要である。



坂戸市議場に於て

埼玉県小川町

研修内容

『公共施設等総合管理計画』

計画策定の背景

人口減少の進行、財源の減少や施設の老朽化の問題が深刻となっている。

計画の概要、経過

計画期間は27年度から30年間である。対象施設は、役場庁舎や公民館、学校などの建築物(92施設)、道路、橋梁、上下水道などのインフラなど、町が所有する全ての施設である。

基本方針

- ① 施設量適正化の推進
- ② 長寿命化の推進
- ③ 適正な施設配置と民間活力導入の促進
- ④ 施設総量適正化の数値目標は、現在の公共施設(建築物)総量の40%削減である。

まとめ

先行して取り組んでいる小川町の今後の動向を注視したい。

地に学ぶ

常任委員会行政視察研修の報告

文教厚生

常任委員会

テーマ 健康づくり事業

視察先 新潟県糸魚川市 新潟県見附市
新潟県長岡市（夕ニタカフェ見学）
視察日 平成27年9月28日(月)～30日(水)

新潟県糸魚川市

研修内容

『健康づくり事業』

ザ・健康チャレンジ事業

自分の身体や生活習慣病などに関心を持ち、楽しみながらチーム（3人1組）で取り組む事業である。チャレンジメニューは、マイナス10キロ、10万歩としている。チーム参加型で健康づくりを図っているのが特徴である。

健康ポイントラリー10

平成27年度新規事業として実施。各種運動事業などに参加し、実施期間内にポイント10個集める。

アルコール対策

27年度から糸魚川市小売酒販組合、市、県の共同で適正飲酒についてのチラシを作成し、酒の販売時に配布し啓発を行っている。

健康いといがわ21

健診（検診）を休日、夕方に導入。企業と連携し検診を行うことで受診率の向上が図られている。

まとめ

本町でも「健康づくりポイント制度」を実施しているが、若者の参加率は低い。糸魚川市のように、企業へ参加を呼びかけるなどの方策が必要と思われる。



糸魚川市議会での研修

新潟県見附市

研修内容

『健康づくり事業』

スマートウエルネスみつけの概要

見附市では、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を健康（健康）IIウエルネスとして、「健康」をまちづくりの柱としている。市では健康づくり事業を総合的に進め、快適で健康なまちづくり「スマートウエルネスみつけ」と称し、日本一健康なまちを目指している。

スマートウエルネスみつけの推進の主な施策

① 歩きたくなる道路の整備
② 産業振興、雇用機会の創出
③ 見附市環境元年事業
④ 健康教育・見附18年教育の推進

健康に関する条例と計画

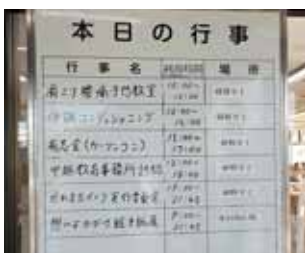
歩いて暮らせるまちづくりをコンセプトに、「見附市健康基本条例」

まとめ

「見附市歩こう条例」を施行し、歩行空間の整備をしている。

まとめ

国の制度をうまく活用し、これまで市で行っていた健康づくりにまちづくりの要素を加えたものになっている。本町でも参考となる。



健康づくりに大きな役割を果たしているスマートウエルネスみつけ

文教厚生 産業建設 常任委員会

先進

産業建設

常任委員会

テーマ スローフード ※6次産業 歴史観光
 視察先 広島県尾道市 広島県世羅町
 兵庫県赤穂市
 視察日 平成27年11月4日(水)～6日(金)

広島県尾道市

研修内容

『おのみちスローフード
 まちづくり推進事業の取
 り組み』

合併を契機に、尾道の食材を知ってもらいたい、食べてもらいたいとの考えから、平成20年度からおのみちスローフードまちづくり推進事業を実施している。

スローフードとは、地域の伝統的な料理や食文化を大事にしていこうという考え方である。

スローフードまちづくり推進事業の主な施策

①地域の食材の提供



尾道市役所玄関前にて

②生産者の保護・育成

③食を通じた教育の推進

まとめ

この事業が始まって5年目であり、まだ手探り状態だが、事業に対する強い熱意が感じられた。スローフードの認知度はまだ低いのが、市民に地元食材を知ってもらうという目標は達成されていると感じる。

広島県世羅町

研修内容

『世羅高原6次産業ネットワークの取り組み』

背景

農業を取り巻く環境は、農業経営が安定しない、農業者の高齢化など多くの問題がある。その問題解決として6次産業を取り入れることとした。世羅町全域で連携している理由として

①世羅町全域を農業公園とする魅力が倍増

②観光・直売・加工に取り組み農業者がいる

③PRを一本化することで効果が上がる



年間10万本を売り上げるスポーツドリンク(共同開発 世羅高校)

主な取り組み

①安全安心な農作物づくり

②地産地消の啓発

③都市と農村の交流活動

④次代の担い手育成

⑤会員の情報発信

まとめ

本町においても、学ぶべき取り組みが多くある。本町の農業も、連携して新しい農業の在り方を模索すべきである。

兵庫県赤穂市

研修内容

『観光政策の取り組み』

赤穂観光アクションプログラム

赤穂市は、NHK大河ドラマで、過去に4作品取り上げられている。観光客入込客数が一番多かったのは平成11年度の「元禄繚乱」放送時で、271万9千人であった。その後は、150～160万人程度で推移している。

主な施策

①観光資源の発掘及び普及

②赤穂のPR及び魅力の再発見

③広域観光の推進

まとめ

観光行政の今後の進め方について、学ぶべき点が多く、参考となった。

※6次産業 農業や水産業などの1次産業が食品加工、流通販売にも事業展開している経営形態。

議会広報
常任委員会

先進地に学ぶ

常任委員会行政視察研修の報告

議会広報

常任委員会

テーマ 議会広報紙の編集

視察先 山形県庄内町 山形県大石田町

視察日 平成27年6月23日(火)～24日(水)

山形県庄内町

研修内容

「こんにちは庄内町議会です」の発行のあらまし

①発行回数：年4回

議会改選後に臨時号、また、町政や議会に関する重大な案件がある場合は、号外を発行している

②印刷部数：7千200部

③配布先：町内全世帯、町内関係機関、県内町村議会、視察訪問先議会

④紙面規格：A4判

⑤発行費用：平成27年度予算426万9千円（1



平成26年度町村議会広報全国コンクールで優良賞を受賞

山形県大石田町

研修内容

「おいしだ議会だより」の発行のあらまし

①発行回数：年4回

②印刷部数：3千部

③配布先：町内全世帯

④発行費用：平成25年度実績 39万1千円（1ページ単価…2色刷り1・65円、カラー5円）

特色ある編集

①目次は、週刊紙を参考に記事の内容を引用

②見開きのページは、写真中心で、見せる工夫

③新年度の事業など、写真で伝える

④議員の発言には、議員の個人名を記載

⑤追跡記事の掲載

⑥定例会前に、号外を発行し、定例会の日程や一般質問の内容を周知している

⑦余白をとり、見やすいレイアウトを行う



庄内町議会での研修

両町から共通して学んだこと

①編集会議を早く開催

②目次や見出しを工夫する

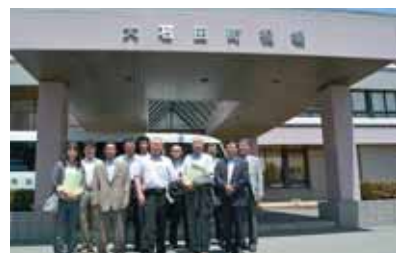
③レイアウトを決めてから、原稿を書く

④他市町村の議会だよりを参考にする

⑤議会広報常任委員会の編集権限を強化する

まとめ

研修で学んだ結果を踏まえ、課題を検討して改善に努め、町民に読んでもらえる議会だよりを作成することを痛感した。



大石田町役場玄関前にて

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成27年10月13日(火)～14日(水)



地域福祉センターにある防災備蓄倉庫

調査内容

- ①(仮称)仙南クリーンセンターの建設状況について《町民環境課》
- ②予算編成について《財政課》
- ③柴田町地域防災計画について《総務課》
- ④職員の研修について《総務課》

調査結果

- ①(仮称)仙南クリーンセンターの整備工事については、工程表どおりに推移していることを確認した。
- ②まちづくり基本条例の趣旨に沿い、予算編成の方針、過程を住民に情報開示し、行政の透明化に努めること。
- ③地域防災計画策定に当たっては、過去の被害や対応状況などを総括検証し、自助、共助、公助を反映させた計画になるよう努めること。また、水害多発地域の個別対策も考慮すること。
- ④広く見識を深めるため、職員が自主研修助成金制度を積極的に活用できるような環境づくりに努めること。

文教厚生 常任委員会

平成27年10月8日(木)～9日(金)

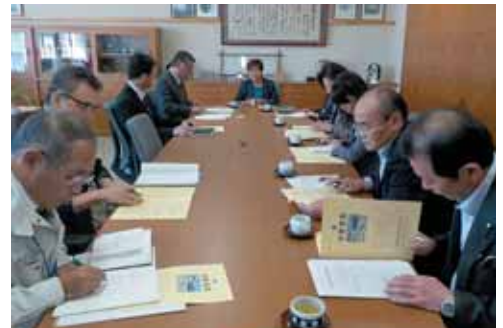
調査内容

- ①町内中学校からの課題及び要望について《教育総務課》
- ②保育所からの課題及び要望について《子ども家庭課》
- 下記については現況の報告を受けた。

教育委員会の事務に関する点検・評価報告《教育総務課》
町内中学校の管理運営状況について《教育総務課》
町内保育所の管理運営状況について《子ども家庭課》

調査結果

- ①特別な支援を要する生徒が増えており、状況によっては特別支援教育支援員の人数を考慮すること。
- 普通教室の教卓と給食台の交換、昇降口と校門付近への照明の設置（船迫中学校）電話回線の増設（船岡中学校）
- ②保育士の人数については、支援を要する子が増えているので、現状に見合った保育士の確保に努めること。



槻木中学校校長室にて

産業建設 常任委員会

平成27年10月26日(月)～27日(火)



関東・東北豪雨の被害調査（葉坂地区）

調査内容

- ①北船岡町宮住宅3号棟新築工事について《都市建設課》
- ②平成27年9月関東・東北豪雨の水害箇所について《都市建設課》
- ③山崎山のナラ枯れ対策について《農政課》
- ④里山ハイキング館山コースの現状について《農政課》
- ⑤みやぎ大菊花展柴田大会の現状について《商工観光課》

調査結果

- ①3号棟は、1・2号棟の経験を踏まえ改善されている。今後の新築では、より一層の住環境の改善に努めること。
- ②被害のあった地区については、地区ごとに局所的な被害軽減対策に努めること。
- ③ナラ枯れ病は、伐倒駆除後も新たに発生していることから、被害が拡大しないよう、早目の対策をとること。
- ④コースは、散策しやすく整備され利用者も増えている。今後も、案内板を工夫するなど整備強化に傾注されたい。
- ⑤みやぎ大菊花展については、秋のイベントとして定着している。後継者不足が重要な課題なので、支援されたい。

あなたの一言



さとう るみ こ
佐藤 留美子 さん
(槻木上町3丁目 在住)

●柴田町に住んでよかった点は

結婚を機に槻木に came しました。買物や交通の便は良いし、望んでいた小児科ができ、ますます住みやすい町だと感じています。

●柴田町で好きなところは

11月頃の白石川です。鉄橋の下の堤防沿いの上ってくる鮭の群れは、まさに圧巻です。それと、整備された国道4号線沿いの土手に桜が植えられ、ステキです。

●町に何を望みますか

道路の悪さを感じます。体が右往左往するときも…。上町や白幡に多いので改善を求めます。公園の遊具点検や整備も強化してほしいです。

●議会だよりを読んでいますか

読んでいます。自分の住んでいる場所が今、どんな課題に直面し、今後、どう変わろうとしているのか関心があるし、一般質問コーナーは住民の声を大事にしていると思います。

●議会・議員に望むことは

直接お話しすることはなかなかありませんが、町の活性化を考え、常に努力なさっている印象があります。もう少し身近に感じられるよう、分野別の説明会などがあれば、ますます柴田町の発展につながると思います。

■議会から一言

ことしも議会懇談会が開催されます。ぜひご参加ください。

未来へ向けて

柴田町議会副議長 星 吉郎氏 急逝



副議長星吉郎氏
(槻木東2丁目)は、
去る11月12日病氣
のため亡くなられ
ました。

星吉郎氏は、平成9年より18年間、議員として町の発展に尽力。各種常任委員会委員長を歴任し、平成25年から副議長として精力的に活動するなど、今後も活躍が期待されておりました。

ここに生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆編集後記◆

新年を迎え、最初の仕事がこの議会だよりの編集でした。

柴田町の主人公である皆様の意に沿った町政運営か、透明な議会運営かを、私たちは12月会議で話し合いました。その内容を十分に、お伝えできているでしょうか。

ことしの議会懇談会では、この広報紙のことについてもご意見をいただきたいと考えています。お読みになった感想などを聞かせてください。

議会広報常任委員 秋本 好則

ぜひ、議会の傍聴を!!

3月会議は

3月7日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

3月7日(月)・8日(火)・9日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより151号は、約15,500部作成しています。1部当たりの経費は約31円です。